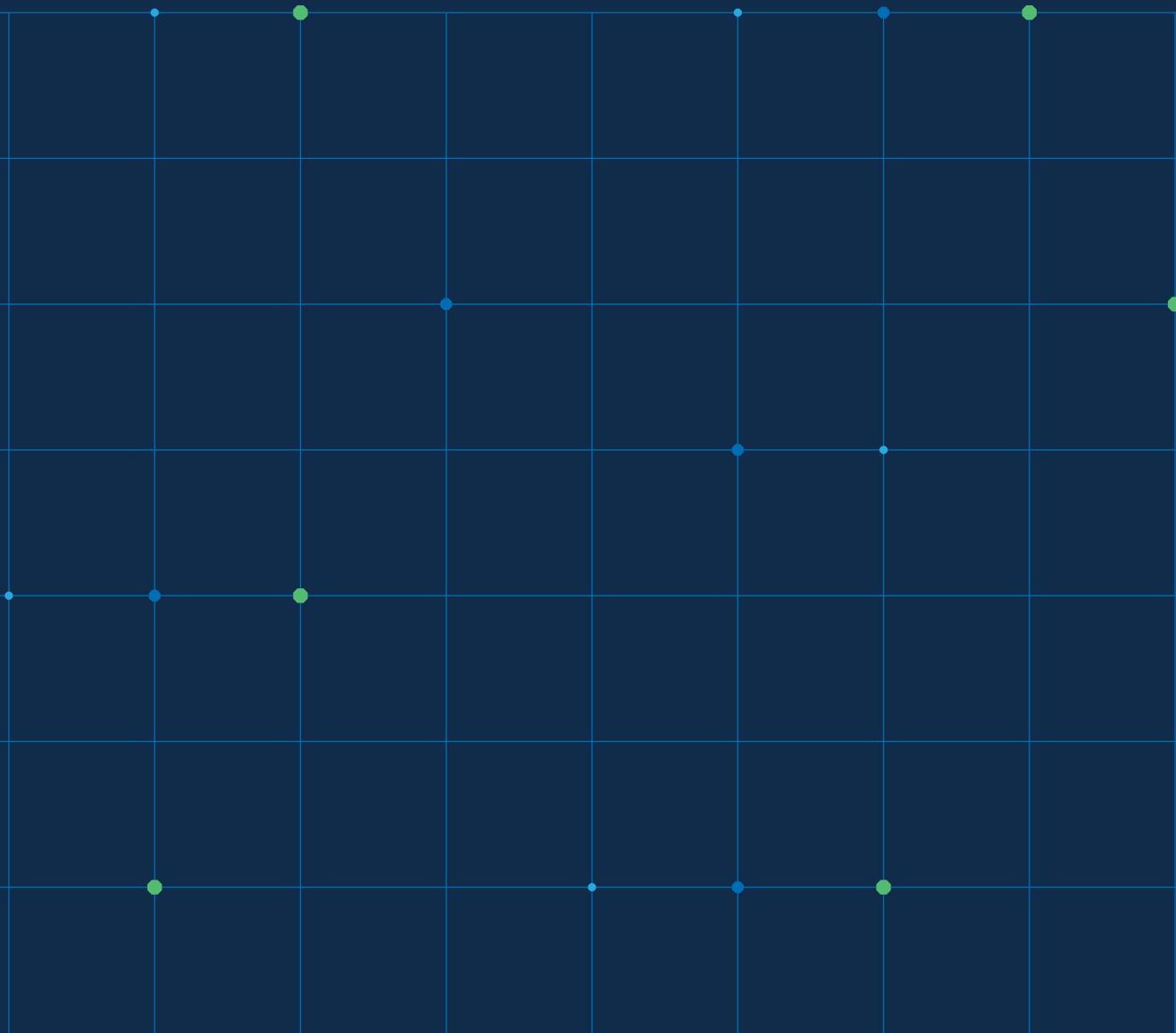


先物オプション： 権利行使と 割当プロセス



はじめに

本レポートでは、CME Groupが指定するオプション市場（シカゴ商品取引所（CBOT）、シカゴ・マーカンタイル取引所（CME）、ニューヨーク商品取引所（COMEX）、およびニューヨーク・マーカンタイル取引所（NYMEX）で取引される先物オプションの権利行使と割当プロセスについてご説明します。すべてのオプション取引において、CME Clearingは、オプションの権利行使するロング・ポジション保有者とショート・ポジション保有者をマッチングする責任を負っています。

CME Clearingは、オプションの権利行使を割当てるために、ランダム方式と比例配分方式という2つの方法を採用しています。比例配分方式（P5参照）は、NYMEXおよびCOMEXに上場されているすべてのオプションとCBOTの米中期国債と米長期国債先物を原資産とするフレキシブル・オプションに適用されています。ランダム方式（P3参照）は、CMEとCBOTに上場されているすべてのオプション（CBOTの米中期国債と米長期国債先物を原資産とするフレキシブル・オプションを除く）に適用されます。

予備知識

オプション・シリーズ

オプション・シリーズとは、特定の先物を原資産とし、特定の満期日、権利行使価格、権利行使スタイル（満期日前にいつでも権利行使できるアメリカン・スタイル、または満期日のみに権利行使ができるヨーロピアン・スタイル）を持つ特定のオプション・タイプ（バットまたはコール）を指します。権利行使と割当プロセスは、ロング・ポジション保有者が権利行使の意思を表明したオプション・シリーズ、または満期日にイン・ザ・マネーとなっているオプション・シリーズに対し、個別に適用されます。

クリアリング・メンバー

オプションの権利行使と割当ては、常にオプション・シリーズのロング・ポジションまたはショート・ポジションの最終的な保有者である口座名義人の代理人であるCME Clearingのメンバー（クリアリング・メンバー）間で行われ、口座名義人の間で直接行われることはありません。また、権利行使が行われるオプションを保有する口座名義人の身元や属性（「顧客」または「金融機関」）が割当プロセスに影響を与えることもありません。

先物オプション：権利行使および割当プロセスの重要な点として、オプション権利行使の割当てを受けたクリアリング・メンバーは、オプションのショート・ポジションを保有する口座のうち、権利行使の割当てを行う口座決定の際に、公平かつ中立でなければならないとCME Clearingが規定しています（詳細については、p.7の「クリアリング・メンバーの役割」を参照）。

ランダム方式の

権利行使者と割当先のランダム・マッチング

ランダム方式の割当とは、権利行使を行う未決済買建玉と権利行使者が割当てられる未決済売建玉を順次ランダムに選び出すことを指します。

オプションの権利行使者:CME Clearingは、オプション権利行使者プール(特定のオプション・シリーズにおいて権利行使が宣言されたすべての未決済買建玉)が離散一様分布であるとして、ランダムに抽出を開始します。プール内の各オプションは同じ当選確率で抽選され、オプションを保有しているクリアリング・メンバー、権利行使を行う口座名義人がオプション・シリーズ内でロング・ポジションを保有していた期間、口座名義人の属性(顧客または金融機関自身)などといった事項は考慮されません。

オプションの割当先: 権利行使者プールからオプションが選ばれた後、CME Clearingはオプション・シリーズ内のすべての未決済売建玉が離散一様分布であるとして、権利行使の割当先をランダムに抽選します。ここでも、未決済売建玉プール内のすべてのオプションは同じ当選確率で抽選され、オプションを保有しているクリアリング・メンバー、口座名義人の属性、ショート・ポジションの規模や保有期間などといった事項は考慮されません。

例:早期権利行使

満期日前に権利行使が可能なアメリカン・スタイルのオプション・シリーズを例にとってみます。オプション満期日の数日前に未決済買建玉が50,000枚あったとします。未決済買建玉はA、B、C、D、Eという5社のクリアリング・メンバーが10,000枚ずつ保有しています。未決済売建玉は3社のクリアリング・メンバーが保有しており、A社とZ社が20,000枚ずつ、Y社が10,000枚保有しています。

未決済買建玉を保有している5社のクリアリング・メンバーのうち、4社が(CME Clearingが定めるオプション行使通知の締切り時間までに)早期権利行使を宣言したとします。(図表1参照)

図表 1

クリアリング・メンバー	未決済売建玉	未決済買建玉	権利行使が宣言されたオプションの買建玉
A	20,000	10,000	1,000
B		10,000	2,000
C		10,000	500
D		10,000	
E		10,000	10
Y	10,000		
Z	20,000		
合計	50,000	50,000	3,510

CME Clearingは権利行使プールから1つのオプションをランダムに抽選します。権利行使される3,510枚のオプションは、すべて同じ確率で抽選されます。抽出された最初のオプションは、クリアリング・メンバーC社が保有しているものと仮定します。

その後、CME Clearingは、未決済売建玉プールの50,000枚の中から1枚をランダムに抽出します。それぞれのオプションが選択される確率はすべて同じです。最初に抽出されたオプションは、クリアリング・メンバーZ社が保有しているものと仮定します。

このようなプロセスがあと3,509回繰り返されます。図表2に示したとおり、最終的に権利行使される3,510枚のオプションが、未決済売建玉を保有しているクリアリング・メンバーに割当てられます。この例では、A社に1,617枚、Y社に928枚、Z社に965枚です。

図表 2

	合計	A社	Y社	Z社
当初の未決済売建玉	50,000	20,000	10,000	20,000
未決済買建玉の権利行使を行った会社	未決済売建玉	未決済売建玉への割当		
A	1,000	244	97	659
B	2,000	1,240	736	24
C	500	132	94	274
E	10	1	1	8
権利行使と割当ての合計枚数	3,510	1,617	928	965
最終的な未決済買建玉	46,490	18,383	9,072	19,035

例：オプション満期日の権利行使

オプション・シリーズの満期日が到来したことを除き、図表1の左3列と同じ状況を仮定します。

イン・ザ・マネー：オプションがイン・ザ・マネーで満期を迎える場合、かつCME Clearingが期限内に未決済買建玉を保有しているクリアリング・メンバーから放棄の連絡を受けていない場合、すべてのロング・ポジションは自動的に権利行使されます。マッチングはp.3と同様のプロセスが適用されますが、権利行使者プールはオプション・シリーズのすべての未決済買建玉で構成されます。

オプションの権利行使に対するContrary Instructions:ほとんどのオプションにて、イン・ザ・マネーで満期を迎えるオプションのロング・ポジション保有者は取引条件により、「contrary instruction」または「counter-instruction」が指示できます。すなわち、CME Clearingによりイン・ザ・マネーで満期を迎えるオプションのロング・ポジション保有者は権利行使を放棄する期間が認めています。この期間は、通常オプションの取引終了時からシカゴ時間午後6時までです。

ただし、外国為替先物オプションなど、例外もあります。これらは、取引終了時点においてイン・ザ・マネーで満期を迎えるオプションのロング・ポジション保有者に対してオプションの権利行使を求めます。

オプション取引をするトレーダーやブローカーは、ルールブックの該当箇所に明記されている当該オプションの取引条件を確認し、権利放棄の指示が可能かどうかを把握しておくことが重要となります。

本レポートでは、Contrary Instructionsが可能なオプションを例として取り上げています。

アウト・オブ・ザ・マネー：一般的に、オプション・シリーズがアウト・オブ・ザ・マネーで満期を迎えた場合、ロング・ポジションを権利行使する理由はなく、何事も起こしません。しかし、時によっては例外が起こります。

ピン・リスク：オプション・シリーズがアウト・オブ・ザ・マネーで満期を迎えるもの、原資産である先物の日次清算価格がオプションの権利行使にさわめて近くなる可能性が高い場合を考えてみましょう。このような場合、一部のロング・ポジション保有者は、オプションがアウト・オブ・ザ・マネーであるにもかかわらず、原資産である先物をオプションの権利行使価格で取得（または売却）することが保証されるという理由で、権利行使する可能性があります。したがって、このような権利行使が選択されると、自動的に権利行使が行われないケースとは別扱いになり、CME Clearingはこのような権利行使をセクション2.2.と同じ方法で割当てることとなります。

厳密に言えば、オプション・シリーズがアウト・オブ・ザ・マネーで満期を迎えた場合でも、権利行使が選択されたオプションと同じ数だけ、満期を迎えるショート・ポジションに権利行使が割当てられます。

例：自動権利行使の放棄を伴う満期

オプション・シリーズがイン・ザ・マネーで満期を迎えるケースを想定します。さらに、ロング・ポジションを保有する2社（A社が5,000枚、E社が750枚保有）が権利行使を行わずにオプション満期を迎えると考えているケースを想定します。

A社とE社はCME Clearingに対し、定められた期日までに（CME Clearingが定める指示の日次通知時刻までに）権利放棄を通知（counter-instruction）します。その後、CME Clearingは、この5,750枚のオプションを自動権利行使から除外します。図表3には、自動権利行使と割当プロセスを考慮した未決済買建玉と未決済売建玉の残高が示されています。

図表 3

クリアリング・メンバー	未決済売建玉	未決済買建玉	自動的に権利行使されるオプションの買建玉
A	20,000	10,000	5,000
B		10,000	10,000
C		10,000	10,000
D		10,000	10,000
E		10,000	9,250
Y	10,000		
Z	20,000		
合計	50,000	50,000	44,250

この時点以降、CME Clearingは、本ページとp.3の手順に従って処理を進めます。権利行使プールからのオプション1枚をランダムに選択した後、未決済売建玉の中から権利行使が割当てられるオプション1枚をランダムに選択します。このプロセスを権利行使が行われる44,250枚の買い持ちオプションすべてが割当てられるまで繰り返します。

A社とE社からの権利放棄の指示による影響は重要な点となります。オプション・シリーズがイン・ザ・マネーで満期を迎えたとしても、権利行使の割当プロセスの結果、未決済売建玉プールの中からランダムに選ばれた5,750枚の売り持ちオプションは、権利行使が割当てられることなく満期となります。

比例配分方式の割当

権利行使者と割当先の比例配分マッチング

クリアリング・メンバー各社がロング・オプション・ポジションの権利を行使する場合、比例配分方式では、未決済売建玉を保有するすべてのクリアリング・メンバーの間で、確定的、かつ売建玉全体に占めるクリアリング・メンバー各社の割合に応じて当該ポジションが配分します。

例：早期権利行使

図表1をもう一度見てみましょう。満期前のアメリカン・スタイル・オプション・シリーズの未決済残高と権利行使の状況が示されています。ランダム方式ではなく、比例配分方式が適用されると仮定します。

図表1(再掲)

クリアリング・メンバー	未決済売建玉	未決済買建玉	権利行使が宣言されたオプションの買建玉
A	20,000	10,000	1,000
B		10,000	2,000
C		10,000	500
D		10,000	
E		10,000	10
Y	10,000		
Z	20,000		
合計	50,000	50,000	3,510

3,510枚のオプション行使の割当ては、売建玉を保有するクリアリング・メンバー3社すべてに比例配分されます。計50,000枚の取引について、A社とZ社はそれぞれ20,000枚を保有しているため、クリアリング・メンバー各社による権利行使の40%が割当てられます。Y社は計50,000枚のうち10,000枚を保有しているため、権利行使の20%が割当てられます。(図表4参照)

図表4

	合計	A社	Y社	Z社
当初の未決済売建玉	50,000	20,000	10,000	20,000
未決済買建玉の権利行使を行った会社	未決済売建玉	未決済売建玉への割当て		
A	1,000	400	200	400
B	2,000	800	400	800
C	500	200	100	200
E	10	4	2	4
権利行使と割当の合計枚数	3,510	1,404	702	1,404
最終的な未決済売建玉	46,490	18,596	9,298	18,596

比例配分による割当は確定的であるため、図表4に示す結果が唯一のものとなります。この点はランダム割当方式とは明確に異なります。図表2に示されるランダム割当方式による結果は、多数の可能性の一つとなります。

例：オプション満期日の権利行使

オプション満期日での権利行使：比例配分では、オプション満期における自動割当は、早期権利行使の際の割当と同様に行われます。ランダム割当方式と同じく、唯一の違いは適用範囲が未決済買建玉プール全体に及ぶことです。

しかし、確固たる決定的な比例配分方式であっても、オプション満期における割当ては、少なくとも2つの点で想定外の結果をもたらす可能性があります。

ピン・リスク：p.4に示した通り、オプションがわずかにアウト・オブ・ザ・マネーのまま満期を迎えるようとしている場合、一部のロング・ポジション保有者は、オプションの行使価格で原資産である先物ポジションを確実に取得できるという理由だけで権利行使を選択する可能性があります。こうして選択された権利行使は自動的な非割当から除外され、比例配分方式に従って割当てられます。

この点を理解するため、P5に例示したオプション・シリーズは、建玉50,000枚、若干のアウト・オブ・ザ・マネーで満期を迎えるようとしていると仮定します。前述の通り、クリアリング・メンバーA社とZ社はそれぞれ20,000枚の売建玉を保有し、Y社は残りの10,000枚を保有しています。

- すべてのロング・ポジション保有者がオプション・シリーズの取引終了までポジションを持ち越した場合は、CME Clearingの自動割当プロセスが一律に適用されます。当該オプション・シリーズはアウト・オブ・ザ・マネーのまま満期を迎えたため、割当ては行われません。
- 代わりに、例えばB社の10枚のロング・ポジション保有者が権利行使を選択した場合、B社はCME Clearingにその旨を通知します。これらの取引は自動非割当の対象から除外され、売建玉を持つ3社に比例配分されます。A社とZ社はそれぞれ4枚、Y社は2枚となります。

自動行使の放棄：先述の通り、ロング・ポジションの保有者は、保有するオプション・シリーズがイン・ザ・マネーで満期を迎えたとしても、自動行使を拒否する権利を持っています。この点が比例配分マッチングにどのような意味を持つのか、図表3の例で再確認しましょう。

図表3(再掲)

クリアリング・メンバー	未決済売建玉	未決済買建玉	自動的に権利行使されるオプションの買建玉
A	20,000	10,000	5,000
B		10,000	10,000
C		10,000	10,000
D		10,000	10,000
E		10,000	9,250
Y	10,000		
Z	20,000		
合計	50,000	50,000	44,250

A社とE社が、それぞれ権利の放棄をCME Clearingに対して正式に期限通り通知したとします。A社で5,000枚の取引を保有する顧客、およびE社で750枚を保有する顧客は、保有するオプション行使せず満期を迎えることを希望しています。したがって、CME Clearingはこれらの5,750枚を自動行使から除外し、残りの44,250枚の買建玉に対して比例割当方式を適用します。図表5は、唯一可能な結果を示しています。

比例分配には確定的な特性があることから、A社とZ社はそれぞれ17,700枚の割当てを受けます。A社Z社それぞれに、割当を受けない2,300枚の売建玉を保有する顧客がいます。同様に、Y社は8,850枚の割当を受けるに留まり、これは合計10,000枚の売建玉を保有する顧客に分配されます。

図表 5

	合計	A社	Y社	Z社
当初の未決済売建玉	50,000	20,000	10,000	20,000
未決済買建玉の権利行使を行った会社	未決済売建玉	未決済売建玉への割当		
A	5,000	2,000	1,000	2,000
B	10,000	4,000	2,000	4,000
C	10,000	4,000	2,000	4,000
D	10,000	4,000	2,000	4,000
E	9,250	3,700	1,850	3,700
権利行使と割当の合計枚数	44,250	17,700	8,850	17,700
最終的な未決済売建玉	46,490	2,300	1,150	2,300

の役割

公平かつ公正な割当配分

これまでの例を振り返ると、オプションの権利行使と割当はCME Clearingのメンバー間で行われるものであり、オプションのロング・ポジションとショート・ポジションの最終的な保有者間で行われない点に留意する必要があります。CME Clearingが権利行使者と割当先のマッチングを行った後、割当先に指定されたクリアリング・メンバーは、自社に割当てられたオプションの権利行使を、自社の顧客間でどのように配分するかを決定する責任を負います。

CME Groupはこの配分が公正かつ公平であることを求めています。

具体的には、CME規則集第9章の規則955に以下の通り規定されています。

- 「A. 各クリアリング・メンバーは、公正かつ非差別的な方法でオプション行使の割当てを通知するための書面手続きを整備する。」
- 「B. クリアリング・ハウスから権利行使の割当の通知があった場合、クリアリング・メンバーは当該通知が割当てられたオプション付与者に対して速やかに告知する。」

例

p.3の図表2に戻りましょう。Y社に対してCME Clearingは、928枚のオプションの権利行使を受け入れるよう、ランダムな割当を行いました。内訳は、A社から97枚、B社から736枚、C社から94枚、E社から1枚です。Y社の顧客口座および、または自社口座は、当オプション・シリーズについて計10,000枚の未決済売建玉を保有しています。Y社は、928枚の権利行使をこれらの未決済売建玉の保有者間にに対して、明確に公正かつ公平な方法で分配しなければなりません。

権利行使者と割当先のマッチングを行うことができる唯一の機関であるCME Clearing

Nothing prevents a single clearing member firm from 単一のクリアリング・メンバーが、オプション行使の双方の代理となることは一切妨げられません。p.3の図表2を例にとると、A社においてロング・ポジションを保有する口座が合計1,000枚のオプション行使しようとしており、同時にA社には合計20,000枚の売建玉を保有する口座があります。しかしながら、A社は、その1,000枚の権利行使者を一方的に自社の売建玉保有者に割当することはできません。CME Clearingは、オプションの権利行使を売建玉を保有するクリアリング・メンバーに割当てる唯一の権限を有しています。

図表2の例において、A社に割当てられたオプション行使の244枚はCME Clearingのランダム・マッチング方式の結果であり、A社が割当を担う1,617枚の一部となります。

この権利行使の割当を受けたA社は、1,617枚（自社が保有する買建玉のうちの244枚を含む）の権利行使を、保有する売建玉20,000枚に割当てる方法について、公平性と公正性を証明することが求められます。

オプションのと割当スケジュール

ここでは、CME Groupが提供するウェブサイト情報を記載します。ウェブではオプションの権利行使および割当プロセスについての最新情報を入手することができます

Clearing Transaction Timeline Tool (清算取引タイムライン・ツール)

CME Group では、オプションの権利行使と割当の通知および実行の期限に関する詳細をClearing Transaction Timeline Toolの一部として提供しています。詳細は当社ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.cmegroup.com/clearing/operations-and-deliveries/transaction-timelines.html>

CME GlobexまたはCME ClearPort などご利用のプラットフォームに応じて、取引や清算が可能な商品の詳細を確認いただけます。またご希望の取引日と商品について取引時間中のデータをダウンロードすることも可能です。

The screenshot shows a grid-based timeline tool. The columns represent three consecutive days: Monday 19 SEP 2022, Tuesday 20 SEP 2022, and Wednesday 21 SEP 2022. The rows list different futures contracts: GE Fundudollar Futures, S&P Three-Month SOFR Futures, and ZF 5-Year T-Note Futures. Each row contains three boxes, one for each day, detailing trade times. The boxes include entries like 'TRADE DATE: MON 19 SEP 16:00 CLOSED' and 'TRADE DATE: TUE 20 SEP 16:45 PREOPEN'. The interface also includes a search bar, filters for asset classes and exchanges, and a type selector for Futures or Options.

Filters			
Search by product name or globex code	Asset Classes & Product Groups	Exchanges	Type
There are 1253 Results			
SORT RESULTS By Most Active			
PRODUCT NAME	MONDAY 19 SEP 2022	TUESDAY 20 SEP 2022	WEDNESDAY 21 SEP 2022
GE Fundudollar Futures >	TRADE DATE: MON 19 SEP 16:00 CLOSED TRADE DATE: TUE 20 SEP 16:45 PREOPEN 17:00 OPEN	TRADE DATE: TUE 20 SEP 16:00 CLOSED TRADE DATE: WED 21 SEP 16:45 PREOPEN 17:00 OPEN	TRADE DATE: WED 21 SEP 16:00 CLOSED TRADE DATE: THU 22 SEP 16:45 PREOPEN 17:00 OPEN
S&P Three-Month SOFR Futures >	TRADE DATE: MON 19 SEP 16:00 CLOSED TRADE DATE: TUE 20 SEP 16:45 PREOPEN 17:00 OPEN	TRADE DATE: TUE 20 SEP 16:00 CLOSED TRADE DATE: WED 21 SEP 16:45 PREOPEN 17:00 OPEN	TRADE DATE: WED 21 SEP 16:00 CLOSED TRADE DATE: THU 22 SEP 16:45 PREOPEN 17:00 OPEN
ZF 5-Year T-Note Futures >	TRADE DATE: MON 19 SEP 16:00 CLOSED TRADE DATE: TUE 20 SEP 16:45 PREOPEN 17:00 OPEN	TRADE DATE: TUE 20 SEP 16:00 CLOSED TRADE DATE: WED 21 SEP 16:45 PREOPEN 17:00 OPEN	TRADE DATE: WED 21 SEP 16:00 CLOSED TRADE DATE: THU 22 SEP 16:45 PREOPEN 17:00 OPEN

オプション権利行使のContrary Instructions

CME Groupのウェブサイトでは、「Contrary Instructions」、すなわち顧客がクリアリング・メンバーに対してアウト・オブ・ザ・マネーのオプションの行使、あるいはイン・ザ・マネーのオプションの放棄指示の処理に関する情報を提供しています。

ここでは以下の情報を入手することができます。

- クリアリング・メンバーから提出された、反対オプションのサマリーレポート(実際の行使と割当プロセスはシカゴ時間の夕方以降に実行され、結果はクリアリング・メンバーに提供されます)
- CME Groupの取引所で利用可能なオプションのうち、Contrary Instructionsが可能なオプションのリスト
- Contrary Instructionsに基づく権利の行使・放棄に関して、クリアリング・メンバーが順守しなければならない期限

<https://www.cmegroup.com/clearing/contrary-option-exercise-instructions.html>

CME Groupの市場におけるクリアリングの詳細は [cmegroup.com/clearing](https://www.cmegroup.com/clearing) をご覧ください

cmegroup.com

取引所で取引されるデリバティブ及び清算される店頭(以下「OTC」といいます。)デリバティブは、すべての投資家に適しているわけではなく、損失リスクを伴います。上場デリバティブ及びOTCデリバティブはレバレッジ商品であり、取引に必要なのは契約金額のごく一部であることから、当初預けた金額を超える損失を被る可能性があります。本書は(適用法令の意味する範囲内において)目論見書又は有価証券の公募を構成するものではなく、また特定の投資又はサービスの購入、販売又は起用を推薦、提案、紹介又は勧誘するものではありません。

本書の内容は、CMEグループが一般的な目的のためだけに作成したものであり、助言の提供を意図したものではなく、助言として解釈されるべきものではありません。本書は、お客様の目的、財務状況又はニーズを考慮したものではなく、本書に記載された情報に基づいて行動し、又はこれに依拠する前に、適切な専門家の助言を得る必要があります。発行日現在における本書内の情報の正確を期すために最善を尽していますが、CMEグループはいかなる誤謬や脱漏についても責任を負わず、情報の更新は行いません。さらに、本書に含まれるすべての事例及び情報は説明のためにのみ使用されており、投資アドバイス、実際的な市場経験の結果又は特定の製品若しくはサービスの販売促進とみなされるべきではありません。本書における規則及び仕様に関するすべての事項は、Chicago Mercantile Exchange Inc.(以下「CME」といいます。)、Chicago Board of Trade, Inc. (以下「CBOT」といいます。)、New York Mercantile Exchange, Inc. (以下「NYMEX」といいます。)及びthe Commodity Exchange, Inc. (以下「COMEX」といいます。)の公式ルールブック、又は該当する場合にはCMEグループの他の特定の子会社取引システムの各ルールブックに従うものとし、これらのルールブックが優先されます。契約の仕様に関する事項を含め、いかなる場合も現行ルールを参照する必要があります。

CMEグループは、本書に含まれるいかなる資料又は情報についても、その使用又は配布が適用法令に反する法域又は国においては、その使用が適切であり、又は許可されていることを表明するものではありません。本書は、いかなる規制当局の審査又は承認も受けておらず、アクセスはユーザーの責任において行われるものとします。

オーストラリアにおいて、Chicago Mercantile Exchange Inc. (ARBN 103 432 391)、Board of the City of Chicago Inc. (ARBN 110 594 459)、New York Mercantile Exchange, Inc. (ARBN 113 929 436) 及びCommodity Exchange, Inc. (ARBN 622 0161 93) は、オーストラリアでの登録外国会社であり、オーストラリアの市場ライセンスを保有しています。

香港では、CME、CBOT、NYMEX及びCOMEXは、香港証券先物事務監察委員会(以下「SFC」といいます。)から、CME GLOBEXシステムを通じた自動取引サービス(以下「ATS」といいます。)提供の認可を受けており、CMEは、SFCから、証券先物条例(以下「SFO」といいます。)第III部に基づき、CMEクリアリング・システムを通じたATS提供の認可を受けています。

日本において、CME株式会社は、日本の金融商品取引法に基づく外国清算機関(FCO)の免許を有しています。

シンガポールにおいて、CME、CBOT、NYMEX及びCOMEXは公認市場運営者としての規制を受け、CMEは、証券先物法(Securities and Futures Act (Chapter 289)) (以下「SFA」といいます。)に基づく公認清算機関としての規制を受けています。上記記載を除き、いずれのCMEグループ企業も、シンガポールにおいて、SFAに基づく規制対象業務を行う認可、又はシンガポールの金融アドバイザー法(Financial Advisers Act (Chapter 110))に基づく金融アドバイザリー・サービスを提供するための認可は受けていません。

いずれのCMEグループ企業も、インド、韓国、マレーシア、ニュージーランド、中華人民共和国、フィリピン、タイ、ベトナムを含め(これらに限定されません。)、CMEグループが事業を行う認可を得てない法域又は当該配布が現地の法令に違反する法域において、何らかの金融サービスを提供するための登録又は認可は行われておらず、またかかるサービスの提供は意図していません。

本書に記載されている情報については、十分な注意を払うようお願い致します。本書の内容に疑問がある場合は、独立した専門家のアドバイスを受けてください。

香港において、CMEグループは、SFOに基づく先物契約の取引業務又は助言業務を行うための免許は取得していません。本書は、SFCからSFO第V部に基づく認可を受けた法人又はSFO第III部に基づく認可を受けた法人のみを対象に、香港において配布されるものです。

日本において本書は、日本の商品先物取引法(1950年法律第239号、その改正を含みます。)及び該当する場合はその関連規則に規定されている高度な知識を有する適格投資家に対してのみ配布されます。これを除き、本書に含まれる情報は、日本のいかなる者に向けられたものではなく、特定のCME商品又はサービスの取引又は利用について日本の顧客に宣伝又は勧誘することを意図したものではありません。

大韓民国において本書は、「特定投資家」(金融投資サービス及び資本市場法(Financial Investment Services and Capital Markets Act) 第9条第(5)項及び関連規則に定義されています。)に對してのみ、かかる特定投資家からの要請に応じて又は免許を有する投資プローカーを通じて配布されます。

中華人民共和国において本書は、読者にのみ提供されるものであり、その他の目的のために中華人民共和国内でこれを複製又は再配布することはできません。本書に含まれる情報は、何らかの金融サービス若しくは商品の提供若しくは販売の提案、何らかの金融商品に関して何らかの行動をとることの明示的若しくは黙示的な推奨、又は何らかの投資アドバイス若しくは市場予測を構成又は示唆するものではありません。

本書は、特定の機関投資家(先物契約取引のための資本市場サービス免許を有する者又はSFAに基づきかかる要件を免除された者等)、適格投資家及び投資の専門家(それぞれSFAに定義されています。)のみを対象に、シンガポールにおいて配布されるものです。

ベトナムでは、ベトナム居住者によるCME、CBOT、NYMEX、COMEXなどのオフショアプラットフォームでの取引について特定の法定規制の対象となる場合があり、CME、CBOT、NYMEX、COMEX上のすべての商品につきベトナム居住者による取引が許可されているわけではありません。ベトナムの投資家は、自身の責任において、ベトナムの投資家に適用されるすべての関連法令を遵守しCME、CBOT、NYMEX、COMEX上の取引を行う必要があります。

CME Group、地球儀のロゴ、CME、Globex、E-Mini、CME Direct、CME DataMine及びChicago Mercantile Exchangeは、Chicago Mercantile Exchange Inc.の商標です。CBOT及びChicago Board of Tradeは、Board of Trade of the City of Chicago, Inc.の商標です。NYMEX及びClearPortはNew York Mercantile Exchange, Inc.の商標です。COMEXはCommodity Exchange, Inc.の商標です。

BrokerTec Americas LLC (以下「BAL」といいます。)は、米国証券取引委員会に登録されたプローカー・ディーラーであり、Financial Industry Regulatory Authority, Inc. (www.FINRA.org)のメンバーであり、Securities Investor Protection Corporation (www.SIPC.org)のメンバーです。BALは、個人顧客及びリテール顧客にはサービスを提供していません。

一部のCMEグループ子会社は、規制当局の認可及び規制を受けています。これらの子会社の一部は、特定の規制の要求のある場合には、通話記録その他電子通信の記録を5年間から7年間保存することが求められており、その写しは請求により入手が可能です(有料の場合があります。)。規制の詳細については、www.cmegroup.comをご覧ください。